

# 関市 関市国民健康保険洞戸診療所



所長診察風景

## 魔物退治伝説の地と 清流の里を支える診療所

### 洞戸の地と診療所の状況

関市国民健康保険洞戸診療所がある洞戸は、明治30年に8村が合併し洞戸村となり、その後平成17年2月に編入合併し、関市洞戸となりました。洞戸地域は、関市の西北部に位置し、岐阜市へ25km、美濃市へ16kmの位置にあります。総面積の89%を林野が占めており、中央を貫流する板取川に沿ってわずかな耕地が段丘上に開け、大小14の集落で形成された静かな山村で、高賀山林に住みついた魔物（さるとらへび）を藤原高光が退治したという伝説があります。

夏には、アユ釣りや川遊び、キャンプのために訪れる方も多く、都市



医科スタッフ  
後列左から 横山事務、野村看護師、矢形看護師、安達看護師、船戸看護師  
中列 長屋事務  
前列左から 市橋事務長、安福所長(医師)、村井事務

### 地域内唯一の医療機関としての使命

当診療所の役割として、地域内唯一の医療機関として地域住民の命と健康を守るという使命があります。



歯科スタッフ  
左から 佐野歯科助手、金子歯科医師、古田歯科衛生士

から比較的近くで自然を満喫できるというところで人気です。農林業では、キウイフルーツ栽培が盛んに行われており、その名前を付けた「ほらどキウイマラソン」大会が毎年11月に行われております。

当診療所は平成28年8月1日に現在の場所に新築移転したばかりの診療所です。洞戸内唯一の医療機関であり、医科と歯科の診療を行っています。医科が週5日、歯科が週3日の診療を行っており、スタッフは、医科9人（医師1人・看護師4人・医療事務2人（派遣）・事務職2人）、歯科は朝日大学歯学部からの診療支援で、歯科医1人、歯科衛生士1人、歯科助手1人の計3人です。

この診療所を訪れる患者さんは、この洞戸内の人達をはじめ近隣市町村の人も利用されており、受診者の多くは、他の山間へき地の診療所と同様に高齢者の方が大半を占めている状況です。

一次医療を担う当診療所では、大がかりな検査施設や入院施設が整っていないため、精密検査や何か危急の時には、最寄りの総合病院にお願いしています。また、平成28年度からは、へき地支援拠点病院（中濃厚生病院）との病診連携体制のもと、休診であった水曜日の午後に医師の派遣をしていただくことで、週5日の診療が実施されることとなりました。平日に医師不在の日が無くなったことは、地域住民の皆様に対して一層の安心が確保できたと感じてい



診療所全景



歯科診療風景

ます。

また、一般診療（内科・整形外科・歯科）と併せて在宅医療（往診・訪問看護）に積極的に取り組んでいます。往診の患者数は、平均すると20人

くらい、その内、8人程度のかたに、訪問看護を提供しています。往診は平日に夜間、土日、深夜に限らず直接、医師宅に電話で依頼されるケースも多々あります。地内に居を構え、24時間体制で医療に取り組むからこそできる医療です。

洞戸地域では、毎月1回開催されているケア会議（内科医・看護師・地区民生委員・集落支援員・社会福祉協議会・事務所福祉担当者・保健師・本庁高齢福祉課・包括支援センター）に参加し、独居で支援を必要とする高齢者や高齢者のみの世帯、また、最近増加している認知症等の情報交換や支援方法について検討を行い、お互いに顔の見える関係を生かし、重層的なネットワークの構築を図り、地域包括医療の充実に努めています。

### 地域に根付いた診療所 を目指して

山間へき地で民間の医療機関による医療が望めない地域では、国保診療所が唯一の医療機関として一次医

療を担っています。住民が安心して適切な医療を身近なところで受けることができるよう、診療所として医師および看護師等医療従事者の確保と、一次医療に必要な機器の充実と定期的な更新による診療体制の整備が必要です。

減少しています。しかしながら、当診療所が取り組んできた訪問診療や訪問看護については、引き続き需要があり今後も継続して取り組んでいく必要があると考えています。いつまでも住み慣れたところで、家族とともに過ごしたいという地域住民の想いに寄り添い、その人らしい生活を送れるよう、地域に根付いた診療所を目指し活動していきます。



所長 安福 嘉則

### 所長の こぼれ話

#### 専門分野

日本整形外科学会と日本東洋医学会の専門医です。

#### 着任当時の思い出

赴任した当時、畑を借りて無農薬農業に挑戦。しかし、見に来た人に「この畑は、周りの草食ったほうがましや」と言われてギブアップ。志は半ばも行かずに潰れてしまいました。

#### 休日の過ごし方、趣味

趣味は本を読むことと剣道かな、それにドライブも入るかもしれない。休日は家内とよくドライブに出かけます。特に日曜の昼0時15分からのFMラジオを聞くことが楽しみです。この番組は以前、はかま満緒さんの司会で「日曜喫茶室」といういろんな分野の専門家を招いてのトーク番組でしたが、はかまさんが亡くなられてからは、松尾貴史さんが引き継いで「松尾堂」になっています。こちらもおもしろい。

剣道に関しては、大学の医学部剣道部の稽古に参加させてもらっています。1週間に一度はと思うのですが、最近は2〜3週間に一度程度です。最近の学生が強くなったのか、小生が年を取ったのか、もっぱら打ち込み台替わりになっています。また、小生が当地へ来てからもう30年余、当地で医学部剣道部の夏合宿を行っていました。当初は岐阜大学のみでしたが、やがて名古屋大学、浜松医大、三重大学、岐阜大学等の医学部諸君70人余の合同合宿になっていきました。しかし、昨年診療所が移転してからは都合で合宿が途絶えてしまい誠に残念です。